

	施策の 方向	とく 取り組み 内容	ちくひょう 目標	しょかつか 所管課	ぐたいてきとく 具体的な取り組み	れいわねんど 令和4年度	
						とくけつ 取り組み結果	かだい 課題
1 地域 における コミュ ニケー ション の 充 実	(1) ニーズに 合わせた 日本語学 習機 会の提供	①日本語学習機 会の提供	市民団体や企業と連携を図りながら、外国人市 民の生活環境やニーズに合った日本語学習機 会を提供する	市民活動推進課	日本国際協力センター（JICE）の就労準備研 修への協力	今年度は日本語教室を前期と後期に分 けて開催した。	すべてのニーズにこたえられていない
		②日本語指導者 （ボランティ ア）の育成	外国人市民の日本語習得の機会を増やすため、 日本語教室の指導者やボランティアの育成を図 る 養成講座を通じて多文化共生に対する理解を広 げる	市民活動推進課	初めての方向け日本語指導者養成講座の開催	7月にハイブリッド型の講座を開催 し、15名ほどの参加があった。	日本語指導者だけでなく多文化共生の意識 を持った市民が増えるよう、今後も定期的 な開催をしていきたい
		③日本語教室空 白地域の解消	日本語教室が開設されていない地域の日本語学 習環境を整備することで、外国人市民が生活に 必要な日本語を習得し、日常的な場面で使われ る日本語をある程度理解することができるよう にする	市民活動推進課	オンライン交流会の開催（月2回）	ベトナム・フィリピンの方が多く、気 軽に会話の練習をしている オンラインなので参加しやすい	回数を増やしてほしいとの要望があり、令 和5年度からは毎週開催する予定

施策の方向	取り組み内容	目標	所管課	具体的な取り組み	令和4年度		
					取り組み状況	課題	
(2) 多言語による情報伝達手段の確立	①各種情報の多言語化	外国人市民にとって必要な情報が入手できるよう、様々な媒体や手段を活用しながら、多言語による情報提供に努めるとともに、提供する内容の充実を図る	生活環境課	多言語版（ポルトガル語、スペイン語、英語、韓国語）のごみ辞典・ごみカレンダーの作成・配布	多言語版（ポルトガル語、スペイン語、英語、韓国語）のごみ事典を作成し配布するとともに、ごみカレンダーについては、上記言語に加えて、中国語、ベトナム語での作成も行い、配布している。	現時点では課題はないと考えているが、今後さらなる言語での作成も必要になる可能性がある。	
			税務課	発信用封筒のやさしい日本語・ポルトガル語の表記	発信用封筒のやさしい日本語・ポルトガル語の表記	複雑な制度や手続きについて、理解を得られるように、やさしい日本語で丁寧に説明するように努める。	
			保険年金課	多言語版国保のてびきの作成・配布	ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語、英語のてびきを作成し、必要に応じて配布している。	他言語でのてびき作成も今後検討が必要である。	
			秘書広報課	ホームページの多言語化（ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、中国語、韓国語、英語、タガログ語）	ホームページの多言語化（ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、中国語、韓国語、英語、タガログ語）	より多くの外国人市民にホームページの多言語翻訳を使用いただくため、操作方法の周知が課題	
			市民活動推進課	Facebookによる多言語情報の提供（ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、英語、中国語、韓国語など必要に応じて）	Facebookによる多言語情報の提供（ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、英語、中国語、韓国語など必要に応じて）	Facebookだけではなくすべての世代・国籍に対応しきれていない（Wechat等） 母語であっても難しい内容は読んでもらえない場合が多い 動画での配信をする必要性を感じている	
			生活環境課	生活相談員（ポルトガル語、スペイン語）の配置	生活相談員（ポルトガル語、スペイン語）の配置	部内で一元化相談窓口の設置について協議をしたが、具体的な推進方法には至っていない。	外国人以外の相談窓口も一元化するには、相談員の種類が多すぎる事が課題となっている。1つに絞めるとなると、相談員だけで多くを抱える課が1つ必要となる。
			生活環境課	通訳タブレットの設置	通訳タブレットの設置		
③多言語による相談体制の充実	窓口への通訳の配置など、子育てや教育、保健・福祉などの広範な相談に多言語で対応できる体制を整備する	すこやか支援課	支援員（ポルトガル語）の配置	支援員（ポルトガル語）の配置はできていない。	人員の不足があり、連絡がなく相談に来ていただいても、確実に対応できるかが難しい。		
		人事課	適切な必要人数と人員配置	適切な必要人数と人員配置	予算編成において担当課のヒアリングを実施し、必要な人員体制としている。		

	④ 「やさしい日本語」やSNSの活用	情報提供の手段として、外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」や、SNSの活用を図る	市民活動推進課	Facebookでやさしい日本語での情報提供	多言語対応できていない言語話者でも情報を得られるようやさしい日本語で	日本語の時点で読んでもらえない場合がある
			保険年金課	やさしい日本語での窓口対応	やさしい日本語での説明をこころがけ対応している。	制度や手続きについて、やさしい日本語による説明が難しく、理解を得ることに苦慮することがある。

	施策の方向	取り組みの内容	目標	所管課	具体的な取り組み	令和4年度	
						取り組み状況	課題
2 安心して暮らせるまちづくりの推進	(1) ライフステージに合わせた切れ目のない支援	①母子保健対策事業と母語支援の実施【乳幼児期】	母子健康手帳の交付や訪問指導、乳幼児健診などの基本的な情報について、外国人保護者に提供するのと同時に、通訳を介した指導や検診などを適切に実施する	すこやか支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語版母子健康手帳の配布 ・健診カレンダーの多言語版配布（ポルトガル語、英語） 	<p>全体の母子健康手帳発行数の約1割が外国籍の方であり、言葉に合わせた母子健康手帳を発行している。健診などではポルトガル語・英語の質問票を使用したり、翻訳タブレット等を用いて、指導や相談を行っている。健診カレンダーはポルトガル語版を作成した。</p>	妊婦中の健康や、乳幼児健診などの保健指導ではどこまで内容が伝わっているかわからない。外国語対応の母子手帳アプリの普及。
			外国人園児と保護者がスムーズな園生活を送ることができるよう、母語支援員を園に配置して通訳等の対応を図る	保育幼稚園課	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語版保育所入所案内、配布文書の作成・配布 ・就園相談、入園申し込み時の通訳 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者配布文書は、翻訳対応を行った。 ・入園申し込みや園での相談に同席をし、通訳を実施した。 	ポルトガル語、スペイン語以外の言語の園児も増加している。来庁時は通訳タブレットを利用しているが、園では十分な対応をすることが難しい。
		②公立学校における受入れ体制の整備【子ども期】	外国人の子どもが就学実態を把握し、教育の機会を確保するとともに、日本語指導や学校生活への適応指導の充実を図る	がっこう教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・特別の教育課程による取り出しでの日本語指導 ・母語支援員の配置（ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語） ・学校配布文書の翻訳（ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語） 	<ul style="list-style-type: none"> ・加配教員を5名配置し、日本語指導に尽力していただいている ・ポルトガル語7名、スペイン語2名、タガログ語1名、中国語1名の母語支援員を配置し、児童生徒への対応のみならず保護者との連携も取ってくださっている 	左記の言語以外の母語の児童生徒が増加しているため、来年度からベトナム語の母語支援員を配置する
		③進路指導の充実【青年期】	将来を見通し、意欲と能力に応じた進路指導が提供されるよう、日本語指導の充実やキャリア教育をはじめとした包括的な支援を行う	がっこう教育課 しみんかつどうすいしんか	外国人市民向け進路ガイダンスの実施	10月に進路ガイダンスを開催し、親子合わせて37名の参加があった	母語支援員の声掛けをメインにしているが、母語支援員以外の声掛けもより増やす必要がある
④就労のための環境整備【成人期】	外国人雇用に関する企業のニーズ把握に努めるとともに、ハローワークなどの関係機関との連携や相談窓口の充実を図る	しょうこうせい課 しみんかつどうすいしんか	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問で外国人雇用状況を聞き取り、担当課や国際交流協会に情報提供を行う 	3/16 碧水ホールで工業会と連携し、「ベトナム社会主義共和国と甲賀市で活躍するベトナム人材」をテーマに市内企業対象の研修会を実施した。	関係機関や工業会と連携し、情報提供を行っていく必要がある。		

	<p>⑤介護保険制度 の周知【老年 期】</p>	<p>外国人市民が介護保険制度の情報に容易にアクセスでき、サービス内容や施設利用等について理解できるよう、介護通訳の実施を検討するとともに制度の周知を充実させる</p>	<p>長寿福祉課</p>	<p>介護保険制度案内の多言語版</p>	<p>多言語での制度の案内を行っている</p>	<p>専門的な用語を伝えることが困難である</p>
---	----------------------------------	--	--------------	----------------------	-------------------------	---------------------------

	施策の 方向	とく 取り組む 内容	めくりよう 目標	しょかんか 所管課	くたいてき とく 具体的な取り組み	れいわ ねんど 令和4年度	
						とく じょうきよう 取り組み状況	かだい 課題
2 安心して暮らせるまちづくりの推進	(2) 災害時に安心できる体制の構築	①災害時多言語情報センターの機能強化	こうかしこくさいこうりゅうきょうかい ていげつ 甲賀市国際交流協会と締結している「災害時多言語情報センターの設置・運営に関する協定」について、今後も協会とのさらなる連携により訓練やマニュアルの整備を重ね、円滑な外国人支援ができるよう備える	しみんかどうすいしんか 市民活動推進課	さいがいじたげんごじょうほう 災害時多言語情報センター立ち上げ訓練	さいがいじたげんごじょうほう 災害時多言語情報センター立ち上げ訓練を行った	がいこくじんしんみん ひさいいしややく 外国人市民に被災者役をしてもらうなどして、より実践的な訓練を行いたい
		②災害時に対応できる人材の確保及び育成	さいがいじ がいこくじんしんみんじしん かさいいしや しえん 災害時に外国人市民自身が被災者を支援する担い手として活躍できるよう、外国人リーダーとなりえる人材の発掘や通訳ボランティアの育成に取り組む	しみんかどうすいしんか 市民活動推進課	たぶんかぼうさいかいぎ かいさい 多文化防災会議の開催	ていきてき かいぎ かいさい 定期的に会議を開催したことで平時からの備えが重要だという一定の方向性が見えてきた	へいじ せな じゅうようせい じっさい がいこくじんしんみん 平時の備えの重要性を実際に外国人市民に伝えることが困難
		③防災意識の啓発	ぼうさい たい いしき じょうじよう ほか 防災に対する意識の向上を図るため、多言語による啓発物や災害時に役立つ情報の提供を行う	しみんかどうすいしんか 市民活動推進課	ぼうさいくんれんじ たげんごばんぼうさいしりよう はいふ 防災訓練時に多言語版防災資料を配布	こんねんど こうかしぼうさいくんれんじりよう せつち 今年度の甲賀市防災訓練で資料を設置した。	ぼうさいくんれんじく がいこくじん すく そもそも防災訓練に来る外国人が少ないため、広く周知ができなかった。
			ききかんりか 危機管理課	たげんごぼうさい はいしん 多言語防災メールの配信	たげんごぼうさい はいしん 多言語防災メールの配信	じゅうしんしや かくさん しく 受信者（キーパーソン）からの拡散の仕組みが必要	
		がいこくじんしんみん ちいき ぼうさいくんれんじりよう さんかそくしん 外国人市民が地域の防災訓練などへの参加促進を図る	しみんかどうすいしんか 市民活動推進課	にほんご はいふ こえか やさしい日本語でのチラシの配布、声掛け	しょうがっこう ぼうさいくんれんかいさい はいふ 小学校に防災訓練開催のチラシを配布した ちよくせつがいこくじんしんみん こえか せつち 直接外国人市民への声掛けを行った	じっさい さんか じんずう すく 実際に参加して下さった人数が少なく、周知が足りていない	

	施策の 方向	取り組み 内容	目標	所管課	具体的な取り組み	令和4年度	
						取り組み状況	課題
3 互いに 支えあ う多 文化 共生 のま ちづ くり	(1) 多文化共生 社会向け 意識啓発	①多文化共生の 意識づくりに向 けた啓発の推進	各種啓発活動を通じて、外国人との共生の必要 性や意義について日本人市民の幅広い理解を促 し、地域社会全体で日本人と外国人とがお互い に人権が尊重できるまちづくりを進める	人事課	国際理解のための職員研修の実施	全職員受講対象の課題別研修において 「外国人の人権」をテーマに研修を実 施した。	今後も引き続き研修を実施していく。
				市民活動推進課	出前講座の実施 庁内多文化共生推進チームにおいて横断的な 研修や情報共有を行う 夏休み中の教職員向け動画の配信	今年度は出前講座の申し出がなかつ たため実施していない 庁内チームでの会議を1回開催した 200名以上の教員が視聴した	各課での取り組みを報告しあえる場の提 供 アンケート結果をもとに外国にルーツを 持つ児童生徒への対応方法がわかる動画作 成を行いたい
				人権推進課	啓発紙「知っているからしているへ」を作成 し、外国人に対する偏見・差別の解消に向けた 基礎的な内容を発信する。 市人権教育推進協議会甲賀支部の団体活動 (甲賀人権文化創造のまちづくりの集い)にお いて、「多文化共生」をテーマとした研修会の 開催。	啓発紙「知っているからしている へ」を作成し、現在業者にて印刷作業 中であり、次年度に発行予定。 市人権教育推進協議会甲賀支部の団 体活動(甲賀人権文化創造のまちづく りの集い)を開催し、「多文化共生」 をテーマとしたパネルディスカッシ ョンを行った。	「甲賀人権文化創造のまちづくりの集 い」は、人数制限を行っての開催となった が、多くの方にご参加いただいた。次年度 は人権教育連続セミナーで「多文化共生」 をテーマにした講演を計画する。 啓発紙を配布するだけでなく、啓発紙を 活用した研修の仕方を含め、地域のリー ダーに周知を行い、啓発を広げる。
	②国際教育の推 進	日本人市民と外国人市民との交流を通じ、地域 住民の異文化理解を深め、地域の多文化共生を すす 進める	保育幼稚園課	「キッズワールド」等交流行事の開催 多文化絵本や歌の紹介	「キッズワールド」では、年3回ボ ランティアの方に来ていただき、お話 やゲーム、歌等、遊びながら英語や外 国の行事に触れた。	行事は一部の園での開催となった。 在園している外国籍園児の母国語や文化 にも触れ理解が深まるよう取り組みを図 る。	
			市民活動推進課	各地区での子ども学習会の開催	子どもたちの目を引くようなチラシを 作成し、県の事業でシリアルの提供を 行った	今後も地域で同様の取り組みが広がるよう サポートしていく	

	施策の 方向	取り組む 内容	目標	所管課	具体的な取り組み	令和4年度	
						取り組み状況	課題
互いに支えあう多文化共生のまちづくり	(2) 多様性を活かした地域づくり	①国際交流事業への支援	市民一人一人が多文化共生意識の醸成を図り、地域における異文化理解に繋げていくため、海外の姉妹都市との交流事業を実施する	学校教育課	中学生姉妹都市交流の実施	今年度も対面での交流ができなかったため、オンラインでミシガン州の中学生との交流を行った（甲賀市5名、ミシガン2名）	同じ空間にいるわけではないので、中学生同士の交流をより深めることが難しい 交流に関しては実際に現地に行くほうがより親睦が深まる
		②多文化共生ネットワークの構築	キーパーソンとなる外国人市民と連携し、外国人への情報提供や現状・ニーズ把握等を行い、多文化共生社会に向けたネットワークの構築を図る	市民活動推進課	・多文化共生推進委員会に外国人市民を複数名登用 ・国際交流協会と密に連携をとり、外国人市民の状況の把握を行う	・委員会で当事者の声を聞くことで、外国人市民の直面している課題を知る ことができた ・国際交流協会を通じて外国人市民とのつながりが増えた	・委員会内でのご意見、実際起きている課題に対する対処法を考える必要がある ・課題が多様化している所以对処が困難
		③外国人市民への地域活動への参画促進	外国人市民の意見が反映され、多様性を享受できる地域づくりを推進し、外国人市民が孤立せずお互いが助け合える関係の構築を図る	市民活動推進課	・多言語版（ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、中国語、英語、やさしい日本語）の自治会加入促進パンフレットの作成 ・国際交流協会との連携による外国人相談会+しゃべりばの開催（月1回）	・多言語版のパンフレットの試作 ・少人数ではあるものの顔の見える関係が構築できた	・外国人市民のニーズをもとに修正を加えていきたい ・継続することで参加人数を増やしていきたい